

## 「人工知能」による IoT データコントロールへ

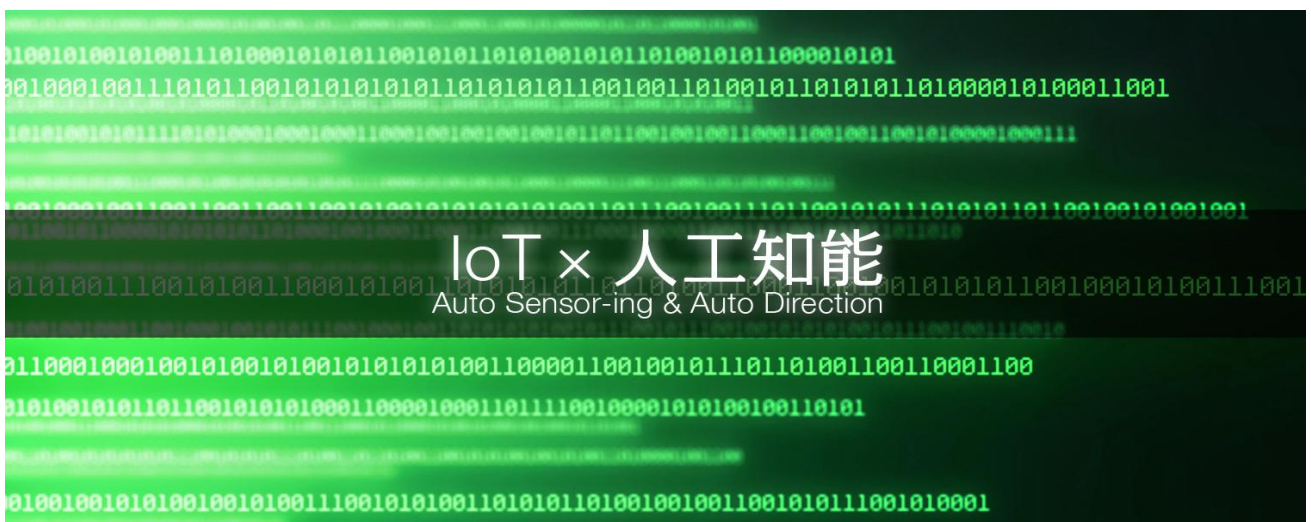
ジグソー株式会社は IoT データコントロールサービスにおいて「人工知能」(コードネーム：Z14B)の実装を開始しました。

このデータコントロール人工知能は IoT データコントロールサービスにおいて実装された「オリジナルのデータ判断・制御をドライブする AI」を指し、膨大なビッグデータをベースにしています。Z14B は推論エンジン及び知識ベースとルールベースによって構成され、膨大なビッグデータであっても推論エンジンのピュアアクションに影響せず、常にフレキシブルな制御を指向するように設計しています。

今後はプログラムの自動生成までの範囲を想定し、従来、人が「見ていたモノ、判断していたモノ、ルール化してプログラム化していたモノ」それらの「アクション」をこの「Z14B」にてコントロール開始し、置き換えを開始していきます。この人工知能により、IoT データコントロールは従来の「データ処理」から「データ判断・制御」に移行し、より高いレベルの自動化へと進化していきます。

また、近い将来、この「Z14B」をはじめとする「人工知能群」が多くの「人間(人力)による判断」を代替し「アクション指示」を全て実行すると期待されています。これは JIG-SAW が提唱する「IoT データコントロールチェーン」のベース機能の一つであり、当社のコンセプト「A&A」における IoT データコントロールを制御する「IoT コア」です。現在及び未来における世界的なエンジニア不足/人材不足及びビッグデータ処理という大きな課題における一つの解が「人工知能：AI」であり、今後、多くの企業や団体や個人がこの領域で革新的なアイデアやサービスを膨大にリリースしていくと考えられています。

また、従来より OS カーネル・プロトコル・双方向認証・ビッグデータコントロール・データ制御・機械学習・制御ロボット・AR・セキュリティ・VR オペレーションこれらを全てオリジナルで実行中です。ジグソー株式会社はまず、事業の軸である「IoT データコントロールにおける人工知能」の投入を開始しました。JIG-SAW はこの人工知能「Z14B」によって IoT データコントロールをより高いレベルへ進化させていきます。



## 【ジグソー株式会社について】

ジグソー株式会社はIoTビッグデータを活用した自動運用(オートパイロット)サービスと、人工知能およびロボット型ソフトウェアをベースとした自動制御システムをクラウド提供。そのほかにも、システム監視、障害対応からシステム運用全般までトータルサポートなどを行っている国内唯一の次世代総合システム運用カンパニーです。

## ■会社概要

会社名： ジグソー株式会社(URL：<https://www.jig-saw.com/>)

証券コード：3914

所在地： 東京本社/東京都港区三田2-10-6 9F

札幌本店/北海道札幌市北区北8条西3丁目32番7階

SCCおよびサテライトオフィス、A&Aラボ/札幌市内

代表者： 代表取締役 山川 真考

設 立： 2001年11月

資本金： 3億1,410万円(2015年5月29日現在)